



2021年7月10日発行
 特定非営利活動法人
 盛岡YMCA
 〒020-0021
 盛岡市中央通 3-7-18
 ラ・ベルヴィ中央 1F
 Tel 019-623-1575
 Fax 019-623-1579
 www.moriokaymca.org
 発行人/ 濱塚 有史
 編集/ 本部事務局

YMCA News

7



「一度きりのキャンプで創り出される奇跡」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



「今回のキャンプは、一度しかない。同じ場所、同じメンバー、リーダー、環境で行うキャンプは一度しかない。」大学1年生に参加した初めてのアドベンチャークラブの宿泊プログラムのミーティングの冒頭で先輩リーダーが話した言葉を忘れられない。宮守村(現遠野市)でかつて“やっちゃん”がやっていた※1四季の子ども村でのキャンプだった。キャンプだけでなく、すべてのプログラムに言えることなのだが、とりわけグループで生活をともにするキャンプは、その一度きりを強く感じる。

リーダー時代、みんなにとって一度きりのキャンプのために、何度もミーティングを行った。参加する子どもたちにどんな思いを経験してもらいたいのか、どんなふうに楽しんでもらいたいのか、そのプログラムは子どもたちにとってどう楽しいのか、そんな話し合いを何度も重ねた。参加する子どもたちに楽しんでもらうために準備をし、キャンプ本番を迎えるのだが、楽しませるために準備をしていたリーダーが、子どもたちに大笑いさせられる場面が多くある。

本気で準備をしたリーダーと、本気で楽しむ子どもたちが集まると何度となくそんな奇跡が起こる。ある時は、準備をしていたプログラムの中で予想外な笑いが生まれる。またある時は、準備をしていたプログラムを超える楽しさや充実感が創り出され、準備したものをせずに夢中に遊び込むこともある。リーダーはその経験の中で子どもたちに育てられているといっても過言ではない。

同じメンバーで、同じリーダーでできる一度きりのキャンプだからこそ、一度しか生まれえない奇跡をみんなで楽しむことができる。とびきり楽しいこの経験が、キャンプのかけがえのない思い出につながっていると思う。

横浜YMCAスタッフ 大塚英彦

※1 現在は長野県にあります

〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城 24159

Email: kodomomura@hi3.enjoy.ne.jp

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

ちきゅうと、あそぼう。～活動報告～

5月30日(日)に、子ども34名、大学生ボランティアリーダー14名、スタッフ2名で、行徳養魚場に行き、『魚釣り大会』をしました。

午前中の最初は、ニジマスやイワナがたくさん泳いでいる釣り堀でさっそく釣りを開始しましたが、なかなか釣れずに苦戦していました。しかし、そこで諦めずにグループで話し合っ、どこに魚がいるのか、どうやったら釣れそうか作戦を考えて何度も何度も挑戦しているうちに、魚が釣れ始め、最後には子ども達みんな分の魚を釣り上げることができました。

釣れた瞬間の子どもたち、今度はヌルヌルしている魚に大苦戦!みんなで協力して逃がさないように勇気を振り絞って魚を触る場面もちらほらと見られました。そして、釣り上げた魚を逃がさないように掴んでカメラに向かってポーズ!!自分で釣っ

た魚にとっても嬉しそうな子どもたちでした。

釣り大会が終わったら、待ちに待ったお昼ご飯の時間!自分たちが釣ったお魚を、「おいしい」と言いながら食べていました。ペロリと食べ終わってしまってもっと食べたそうにしている子や「ありがとう」と言いながら命に感謝して魚を食べている子など子ども達も様々なことを感じながら、みんなで美味しく魚を完食しました。

午後からは、フリータイムでは外で鬼ごっこやボール遊びでいっぱい走り回って楽しんだり、ホールのピアノを弾いて楽しんだり、友達やリーダーと仲良くおやつを食べたりと最後まで楽しそうにフリータイムの時間を過ごしていました。

十文字堅斗(おびリーダー)



サンデースクール ～活動報告～

6月13日(日)の9時から11時まで、仁王地区活動センターの体育館にて、「キンボールで遊ぼう!」を行いました。子どもたち15人と大学生ボランティアリーダー12人、スタッフ1人の計28人が集い、大きなボールを使って元気いっぱいキンボールで遊ぶことができました。

オレンジ・青・緑・黄色の4つのチームで、それぞれがどういう作戦でボールをキャッチするか、ボールをどこに投げるかを相談しながら、みんなで協力してゲームをしていました。点数が入ると子ども達も大喜び!!ファインプレーには、チーム関係なく「スゴイ!!」と素直に褒め合う場面や試合後にははっきりみんなで「ありがとうございました。」と言い合い、他のチームのことを尊重している場面も見られ、最後まで楽しみながらキンボ

ールをすることができました。

最後の表彰式では、楽しい雰囲気と呼ばれてやってきた、キンボールの妖精さん?が現れて、子ども達みんなにメッセージが書いているメダルを渡していました。グループカラーのメダルをもらった子ども達は、なんて書いているのか興味津々の様子でとてもうれしそうでした。

キンボールの準備から試合中の得点板、最後の掃除や後片付けまで、みんなで協力して楽しい時間を作ることができました!最後には「キンボールをもっとやりたい」、「もう終わりの?」と、まだまだキンボールを続けたがっている子もちらほら。またみんなと楽しくキンボールをやりたいです!!

十文字堅斗(おびリーダー)



2021 サマーキャンプのおしらせ



【森の大自然満喫キャンプ】

みなさん、こんにちは!!森の大自然満喫キャンプでメインを担当します!おびです!今年の「森の大自然満喫キャンプ」は外山森林公園の大自然の中で7月24日、25日の2日間に1泊2日のキャンプをします。

今年の夏は「森の大自然満喫キャンプ」で最高の思い出を作ってみませんか??森の中で思いっきり遊んで、遊んで、遊んで、大自然を遊びつくそう!!きっと人生で一番楽しい夏になるよ!!それにまき割りや火付け、炊事では自分たちで料理を作ったり、テントを立ててその中に泊まったり、キャンプファイヤーしたりなど日常では味わうことのできない特別な体験ができるよ!!初めて参加する子ども大歓迎!いっしょに新しい発見したり、新しい友達作ったり、いろんなことにチャレンジしようね!失敗なんて恐くない!失敗も楽しんでいこう!おびはみんなとキャンプファイヤーしたり、テントに泊まったり、美味しいご飯が作って、たくさん遊べることを考えると今からワクワクドキドキが止まりません!!

昨年、サマーキャンプができなかった分、やる気100万パーセントで準備を進めています!!絶対に楽しいキャンプにしますので楽しみにしてね!後悔はさせません!!楽しすぎて3日目に突入なんてことも・・・あるかもね!!森の大自然満喫キャンプに参加する愉快なリーダー達もみんなと会えるのを楽しみにしています!もうキャンプに来るしかないよね!みんなの参加待ってるよ!!またキャンプで会おう!!

十文字堅斗(おびリーダー)



【島のわくわくキャンプ】

こんにちは!今年も夏がやってくる!ワクワクが止まらない!ということで、私、はっちから、島のわくわくキャンプの紹介です!

紹介わくわくキャンプは、8月4日(水)~8月7日(土)の3泊4日!盛岡YMCAのキャンプの中で1番長く、その分楽しめる時間も長い!そんなキャンプです。場所は気仙沼大島休暇村キャンプ場。そう!宮城県でのキャンプです!宮城県まで遠いんじゃないの?と思われるかもしれませんが、みんなでバスに乗ってゲームをしたり歌を歌ったりしながら向かうので、あっという間です。バスの時間すらとっても楽しいんです!

島のわくわくキャンプと言われて、何を思い浮かべますか?野外炊事?海水浴?それとも、テント泊?なんとこれ、島のわくわくキャンプに行けば、全部できちゃいます!夏と言えば、キャンプと言えば、を詰め込んだキャンプとなっています。普段お家の人にしてもらっているようなご飯作りや寝床の準備、片付けも自分たちでしたり、海に行ってみしゅれになって大はしゃぎしたり、テントで、みんなで秘密のお話をしたり、自然の中で色々な生き物に出会ったり、自然の中で思いっきり走り回ったり、、なかなかできないワクワクな体験がたくさんできます!!はっちもみんなと何しようかなどワクワクを募らせてます!!

3泊4日での様々な体験を通して、仲間の、そして自分の知らなかった一面を発見し、色々なことにチャレンジして、みんなで成長できるようなキャンプをみんなで作っていきたくと思います。

キャンプでみんなですることはきっと、ひとつひとつがかけがえのない体験に、そしてキラキラした思い出になることでしょう!個性豊かなリーダーたちと、仲間たちと、思いっきり「わくわく」する4日間を過ごそう!みんなでキャンプができることを心から楽しみにしています!みんなの参加、待ってます!

佐藤亜美(はっちリーダー)

《島のわくわくキャンプに関わるお知らせ》

島のわくわくキャンプは、宮城県気仙沼大島休暇村キャンプ場を会場として開催されます。岩手県外に出るということで、コロナウイルス感染への不安を覚えられる方もいらっしゃるかと思いますが、移動については貸し切りバスを使い、キャンプ場まで他団体等の方との接触は一切ございません。また、キャンプ中もYMCAで作成した、コロナウイルス感染症対策ガイドラインに則り、生活をしていきます。皆様ぜひご参加下さい。

【星空満点キャンプ】

皆さんこんにちは!「星空満天キャンプ」でメインをやります!あんこです。今年の「星空満天キャンプ」は、焼走り国際交流村キャンプ場の大自然に包まれながら、8月9日~8月11日の2泊3日キャンプをします!

今年の夏は、満天の星空をみんなで眺めて、一生に残る最高の思い出をみんなで一緒に作っていこう!普段の生活では味わえないドキドキ・ワクワクが君を待っている!キャンプに行ったことがない子、何度もキャンプに行っていてキャンプ大好きな子、だれでも大歓迎!!ここにしかない大冒険を味わいつくそう!

このキャンプの醍醐味は、もちろん満天の星空をみんなで楽しむこと!森の中ではなんと普段の100倍星がきれいに見えるよ!一生の思い出になること間違いなし!自分だけのオリジナル星座が作れちゃうかも!?!もしかしたら流れ星だって見ることができちゃうかも!?!それだけじゃない!薪割りや火付けをして自分たちで料理をしたり、いろんな発見がある大自然の中を体験したり、みんなでテントを立てて、友達と一緒にテントに泊まったり、キャンプファイヤーをしてみんなで騒いだり、ワクワクするイベントが盛りだくさん!!ここにしかない出会い、冒険、遊びがたくさん詰まっている最高の体験ができるよ!

あんこは星を見るのが大好きで、今回のキャンプでみんなとオリジナル星座を作ることと流れ星を見ることがすごく待たしい!もう楽しみすぎて夜しか眠れない!!ごはんも一日3食しか食べられない!!

このキャンプに参加するたくさんのリーダーたちもみんなと会えることを、まるで1年に1回しか会えない織姫と彦星のように、すごく楽しみにしているよ!この夏を一番楽しみつくすのは盛岡YMCAだ!最高の思い出・キャンプを一緒に作り上げよう!みんなの参加を、首をながーくして待ってるよ!

海和将太(あんこリーダー)





「褒める!!」

早生まれの僕はみんなより一回り体が小さかった。そのくせ、甘やかされて育ったせいか口ばかりは達者なこまっしゃくれた子どもだった。

じっとしていることが大嫌い。先生の話なんか上の空だ。小学校入学早々の算数のテストは「飛んでる蝶々の数だけチューリップの花の色を塗りなさい」という問い。全部のチューリップを丁寧に塗って満足していた僕に返ってきた答案には、赤い字で0点と書かれていた。

当然お勉強は苦手だし、鉄棒やうんていもさっぱりだった。しかし、2年生の頃なんとか活路を見出した。H部隊という女の子のスカートをめくることだけを使命とした、とんでもないチームを作り、3人の子分を従えてその隊長に収まった。生まれて初めてのリーダー経験に満足していたのだが、風邪で3日間欠席しているうちに学級会が開催された。可愛い子分たちは、クラス全員の前に立たされ、脱退の宣言をさせられていた。僕一人となったH部隊はその後自然消滅した。

学級会にはいろいろ思い出がある。6年生の頃、僕のことを原因でまる一日学級会が開催されたことがあった。議題は「なぜ、こんなに面倒をおこすのか?」という内容だった。お昼ははさんで5時間目はクラス全員で僕へのお手紙を書く。6時間目は、その手紙のお披露目会だった。「きっと寂しいんだと思います。」そんな発表もされたが、「余計なお世話だ!!」と聞き直っていた。

中学1年生の時は、学級会長に立候補した。H部隊の解散後“長”のつくものにあこがれていたが、品行が品行だけに誰からも推薦されることはなかった。学級会長の選挙が自薦から始まることに気づいた僕は、勇気を振り絞って「僕が会長になります」と発言したら、すぐさまクラスメイトから反対動議が出された。「濱塚君は学校でカブトムシを販売してます。」

そんなこんなで学校で先生から褒められたということがほとんどない。ただ一つ、6年生の頃、図工の時間に「濱塚の描く線はきれいだな。」と言われたことがある。先生もよっぽど褒めることがなく、なんとか探して褒めてくれたのだろう。しかし、その言葉は僕にとってとても貴重なプレゼントだった。あれから約半世紀たった今でもその時のことを憶えているし、絵を描くことは好きで毎日、裏紙に落書きをしては楽しんでいる。

最近、褒める教育に対する弊害を耳にすることがある。教育の専門家ではないので、その是非についてなんとも言えないが、少なくとも目の前の子どもたちの良いところを見つけ出していく姿勢は大切にしていきたい。

「するとイエスは幼な子ら呼び寄せて言われた、『幼な子らをわたしのところに来るままにしておきなさい、止めてはならない。神の国はこのよ者の国である。...』」

(ルカによる福音書18章16節)

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

※互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと

～ 感謝 ～

(2021年6月28日現在)敬称略

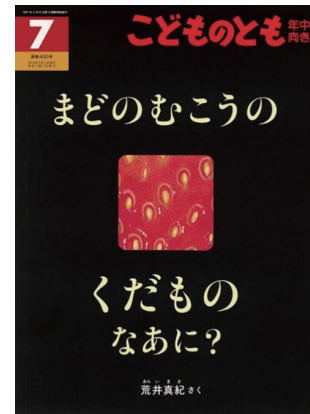
●維持会員

山本常緒、古澤伸、長岡正彦、吉崎陽、光永尚生、上條直美、工藤悦子、佐藤翔、大関靖二、人見晃弘、押切梓、増田隆、一戸貞文、若井淳、高橋奈菜、伊藤真一郎、伊藤みどり、及川茂夫、accommon、森山日菜乃、森山幹大、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤信彦

最新情報はこちらでチェックできます! 「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ  : <https://www.moriokaymca.org/>
facebook  : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>

『まどのむこうのくだものなあに?』



荒井真紀 さく
福音館書店

この絵本には文字がない。
あるのは四角い小さな窓だけだ。

この窓の向こうにくだものが隠れているよ。何だと思う?

あかくて、ちいさなきいろいつぶつぶがみえるね。
あかいくだもの? りんごかな? トマトかな?
さくらんぼやいちごもあるね。
あとは・・・スイカもあかいね。
つぶつぶはぜんぶについているのかな? それともすしだけかな?
さわったらザラザラするかな?
いいにおいがするよ。あまいにおい。
あまくておいしいけど、ちょっとだけすっぱいところもあるよ。
ぼく、これいちごだとおもうよ!

じゃあ開けてみようか。

あっ、やっぱりいちごだ! すぐにおおきいね。おいしそうだなあ。
やわらかそうなけがっぱいはえているね。
つぶつぶはたねなのかな。
ふたつにわると、まんなかがりしろいんだね。ぼく、このあかいところがだいすき。
だってあまいんだもん。

この絵本の魅力は、小さなきっかけからその向こうの大きな物事を想像する楽しみがあることだ。
子どもたちはじっくりと絵を見て、五感を働かせて様々な想像や発見をしている。
表紙からだけではなく、裏表紙からも同様に楽しめるこの絵本は、子どもの想像力を無限に広げてくれる。
絵本とは、「絵が物語る」ということを改めて感じさせてくれる一冊である。

さあ、次の小窓をのぞいてみよう!

盛岡市立図書 司書 高橋千晶

表紙の写真から



3 すべての人に
読書と学びを

2年前の「島のわくわくキャンプ」の様子。
NHKの朝の連ドラ「おかえりモネ」の舞台となった気仙沼大島です。今年は、8月4日から3泊4日で開催します。